

コンシールファスナー B

※ あき止りより3~5 cm以上長いファスナーを用意します。



前後のパーツを**中表**に合わせ「あき止り~裾」を縫い合わせます。

※ 縫い始めと縫い終わりには返し縫いをします。



縫い目巾の目盛りを大きく(長く)し、「あき止まり~ウエスト」に**粗ミシン**(ミシンじつけ)をかけます。

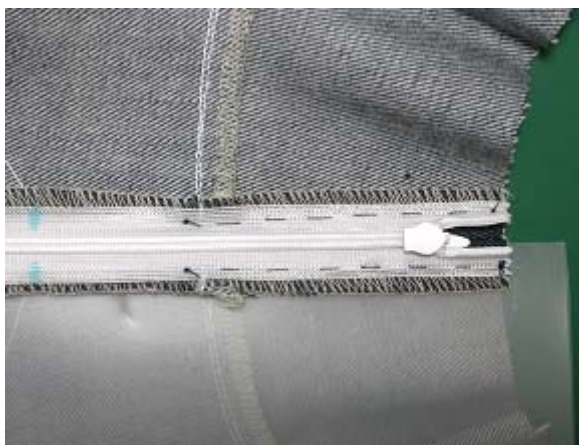
※ 縫い始めと縫い終わりは糸を長めに残します。

※ 返し縫いはしません。



アイロンで縫い代を割ります。

縫い代の下にクリアフォルダ等を敷き入れ、ファスナーを縫い代のみにしつけします。



※ しつけはあき止まりの 5 cm 上までします。

両側にしつけをします。



「あき止まり～ウエスト」にかけて粗ミシンをほどこき、スライダーをあき止りより下まで下げます。

あき止り位置にチャコペン等で印を付けます。

押さえをコンシールファスナー押さえにします。

縫い目巾の目盛りを元に戻します。

務歯(ムシ:かみ合う部分)を押さえの溝にはめ込み縫います。

※務歯を起こしながら務歯の際を縫います。



しつけの終わり位置(あき止りより 5 cm上)まで縫い、針を下ろしたまま縫い線のバランスを見ます。

しつけ終わり位置～あき止り位置まで縫い進める間に 1.5～2.0 mmほど布端へそれるように縫い進めます。

あき止りよりさらに 1～2 針縫い進め、返し縫いをして糸を切ります。



※反対側から見たところ

縫い終わったらスライダーをあき止りより上に引き上げます。



ペンチ等を使い、フリー下止め具をあき止りの 5 mm上に固定します。

あき止りより 2 cm下でファスナーを切ります。

ファスナーの端をそれぞれの縫い代に縫い付けます。

※ ウエスト側は返し縫いなし、あき止り側は返し縫いをします。